

縄文・古墳時代の竪穴式住居2棟の復元をめざす、 選択授業「古代人になろう」がスタート



日の出町教育委員会社会教育課では、今年度、「緊急地域雇用創出特別交付金事業(文化財整理・活用事業)」として、日の出町立本宿小学校校庭に、縄文時代・古墳時代の竪穴式住居2棟を復元します。この事業は、4月に「エンカレッジスクール」として衣替えをした、都立秋留台高校(あきる野市)と連携して実施されます。

この竪穴式住居の復元作製にむけては、昨年度から、都立秋留台高校では、事前学習として、1年生対象の総合的な学習の時間で、火起し体験、勾玉づくりなどの体験学習を8回実施しています。この事前学習の成果を活かして、都立秋留台高校では、4月から2年生の系列選択授業として、「古代人になろう」をスタートさせました。



グループで火起し体験(ひも切り式)

小学校との連携授業の成果を、 都立秋留台高校との連携に活かしていくために

— 様々な生活体験ができる場としての 竪穴式住居の復元をめざして —

日の出町教育委員会社会教育課では、平成14年度から実施された「総合的な学習の時間」の試行期間である平成12年度から、日の出町立本宿小学校等と連携した地域の文化財の活用や火起し体験、石器づくり体験、縄文土器づくり体験などを取り入れた授業を展開してきました。

この連携授業を契機に、日の出町教育委員会社会教育課では、文化財資料(土器・石器など)の他に、多様な生活体験ができる場として、竪穴式住居の復元についての企画を考えてきました。そして、「竪穴式住居の復元は、設計・施工・建築物という『ものづくり』の一連の工程を体験することが可能であり、職方などプロの職人との触れ合い、職体験など一連の作業で様々な生活体験が可能であり、多様な学習効果が期待される」ことから、探求する力や身体的な能力を有している高校生を対象に展開できるのではと考え、都立秋留台高校と連携して、系列選択授業として実施することになりました。

地域の小学生や職人たち、大人たちと かかわることのできる「新たな学びの場」として

この「古代人になろう」のねらいについて、今回の企画を考え、都立秋留台高校とのコーディネート及び講師等を勤めている、日の出町教育委員会社会教育課職員の佐伯秀人さんは、「竪穴式住居の構造や住居を作るための道具などを調べ、竪穴式住居の復元作業を通じて、当時の人々の暮らしぶりや生活の知恵を学ぶことができます。また、様々な調べ学習や昔の道具を使った伐採、材木の皮剥ぎ、竪穴を掘るなどという体験学習を組み込むことにより、身をもって多様な生活体験ができるのではないかと話します。この4月以降、高校2年生の42人が、竪穴式住居の復元をめざしながら、インターネット、文献・資料等から、縄文時代から古墳時代の生活や住居などについてグループごとに調べ学習を進めてきました。夏休みには、宮大工(伝統的な技術で、寺や神社などを作る大工のこと)の木住野智行さんとともに、実際に復元されている住居の見学をし、9月頃には、今までの授業のまとめとして、各グループのプレゼンテーションを行います。その後、12月頃から、本宿小学校の児童と一緒に、竪穴を掘り始める作業を行っていきます。本宿小学校でも、6年生の「総合的な学習の時間」の一環として位置づけていく予定です。これらの復元作業には、宮大工の木住野智行さんを始め、地元の造園業者などの職人たちが、親方としてかかわっていきます。この選択授業の担当教諭の渡辺和己先生は、「生徒たちが、この作業で、小学生や、様々な職人たち、大人たちとかわることを通じて、今の自分のポジションや役割などを考えていききっかけとなれば」とその期待感を語ってくれました。

また、佐伯さんは、今後の抱負として、「みんなで復元した竪穴式住居を活用して、宿泊をしたり、縄文土器を作り、その土器を使って煮炊きして食べる体験をしたり...と、縄文時代の生活などを体験できる『新たな学びの場』にしたい」と語ってくれました。

このように、日の出町教育委員会社会教育課が、地域の取組を発信し、コーディネートして、都立秋留台高校の授業として結実させ、竪穴式住居の復元をめざすことは、注目すべき取組と言えるでしょう。



日の出町教育委員会社会教育課の佐伯さんと調べ学習

「エンカレッジ」(Encourage)とは、「励ます」、「カブける」という意味で、生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援する学校をめざしています。たとえば、都立秋留台高校では、集中して取り組むことができるような30分授業、2年次からの興味、関心、適性、進路に応じた「系列選択科目」を置き、教科の枠を越えた授業の設定、全学年に自由選択科目の設置、少人数制で二人担任によるきめ細やかな指導、定期考査は行わず、生徒の学ぶ意欲や熱意を評価していく取組などを進めています。